

■早川雪洲(Sessue Hayakawa) 映画俳優。ハリウッドでデビューした日本人初の国際的スターで、<敗戦>後も名演。

はやかわせしゅう

帝国憲法発布1889＝ 千葉県安房の七浦村で、裕福な網元の末っ子に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 5歳：

子規句歌革新1898＝ 9歳：

Bushidou・・1899＝10歳：この年、川上音二郎の姪で養子の鶴子が一座とともに訪米し、サンフランシスコの日本人画家青木年男の養女になる。

幼時から武道に親しみ、海軍大将を夢見て、

日露戦争終・1905＝16歳：

海軍予備校に入ったが、

韓国反日暴動1907＝18歳：

素もぐりした際に鼓膜を破って、

伊藤博文暗殺1909＝20歳：

海軍兵学校の体格検査で不合格。七浦村沖合で座礁したアメリカ船の通訳を買って出たことを契機に、

韓国併合・・1910＝21歳：

渡米し、シカゴ大在に入学、
在学中から演劇活動を行っていたが、

明治天皇没・1912＝23歳：

大正政変・・1913＝24歳：

卒業してまもなく、日本で父が死去。帰国しようとロサンゼルスに出て、リトル東京の日本劇場に寄った

際、その陳腐さにあきれて直談判、そのまま劇団員になると、「不如帰」を自ら脚色主演して評判となり、

第一次大戦始1914＝25歳：

そこで出会った青木鶴子と結婚。*アメリカ人にも面白いものをと「タイフーン」を上演してトマス＝インス監督の目にとり、破格の条件で映画界入り、日本人主演の本格的アメリカ映画第1号レジナルド＝パーカー監督「タイフーン」となり、続いて同監督「火の海」に出演、

21ヶ条要求・1915＝26歳：

民本主義・・1916＝27歳：

パラマウント映画に移って出演したセシル＝B＝デミル監督の「チート」が大ヒットしてスターの仲間入り、
*「デンプテーション」等々サイレント初期のアメリカ映画に主演、たちまちその性的魅力でアメリカ女性を

魅惑して人気スターになり、3年間に26本もの映画に出演し、異民族の男性の美しさやセックス・アピールを売物にするハリウッドの風潮をつくり、

本格政党内閣1918＝29歳：

べルシエ条約・1919＝30歳：

独立プロ{ハウース・ピクチャーズ}を設立し、

豪邸"グレンギヤリ城"を建て、毎晩のようにパーティーを開き、女優との間に子をつくったりするが、

トーキー時代に入り、日本人移民排斥ムードも高まって、人気が衰え、

原敬首相暗殺1921＝32歳：

水平社結成・1922＝33歳：

独立プロを解散して、ハリウッドを去る。帰国後、

関東大震災・1923＝34歳：

フランスにわたり、映画「ラ・パタイユ」、

護憲三派圧勝1924＝35歳：

移民制限法が施行される。「犠牲」など、トーキー以後は性格俳優として国際的に活躍。

治安維持法・1925＝36歳：

円本時代始・1926＝37歳：

アメリカに戻る。

海軍軍縮条約1930＝41歳：

8年ぶり帰国して「天晴れウォング」に出演。

満州事変・・1931＝42歳：

五一五事件・1932＝43歳：

自ら監督した「太陽は東より」に出演して、日本映画界にもデビュー。

帝人疑獄事件1934＝45歳：

日中戦争始・1937＝48歳：

ナチスドイツ占領下のフランスに渡り、日独合作映画「新しき土」、仏映画「ヨシワラ」出演後、パリにプロダクションを設立して、フランスで活動、

健保+総動員 1938＝49歳：

「マカオ」を製作するも、亡命オーストリア人が出演していたため、公開できず、

日米開戦・・1941＝52歳：

創価学会検挙1943＝54歳：

敗戦・・・1945＝56歳：

パリ解放後も逮捕されることなく、

新憲法公布・1946＝57歳：

帰国。

三大事件・・1949＝60歳：

ハンフリー＝ボガートが自ら製作主演する「東京ジョー」の共演者にと、ハリウッドにカムバック。

朝鮮戦争始・1950＝61歳：

日本映画「遥かなり母の国」「レ・ミゼラブル」等々にも出演、

独立回復・・1951＝62歳：

メデール事件・ 1952＝63歳：

55年体制始・1955＝66歳：

「東京暗黒街・竹の家」、

なべ底不況・1957＝68歳：

*デビッド・リーン監督「戦場にかける橋」の日本人の捕虜収容所長役の名演でもっとも強烈な印象を残す。

美智子妃・・1959＝70歳：

自伝「武者修行世界をゆく」。

安保闘争・・1960＝71歳：

「南海漂流」、

タイタイ病始・1961＝72歳：

美濃部都知事1967＝78歳：

*「純情二重奏」出演を最後に、

大阪万博・・1970＝81歳：

石油ショック1973＝84歳：

没した。

シリーズ「人間の記録」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、インターネット、